

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	・平成21年度は8月の施設行事の際に運営推進会議を行ったが、1回しか実施できておらず、定期的な開催まで至っていない。	・各関係者等に運営推進会議の意義を理解して頂き、運営推進会議に出席していただくよう促す。 ・年間スケジュールを立てて、そのスケジュールを各関係者に配布し、周知する。	・家族関係者には面会訪問時に運営推進会議の開催を伝え、参加が可能か確認する。 ・自治会にも参加可能な日があるか定期的に訪問する。 ・地域包括支援センターには、ホームの状況報告とともに定期的に訪問する。	12ヶ月
2	10	・ご家族の来訪時には意向を聞くように努めているが、運営推進会議や家族会などで、意見を表出することができる機会がない。	・意見を言えないご家族に対しての配慮として、家族会やホームだよりの誌面への工夫を行う。	・ホームだよりを年3～4回配布しているが、内容を見直し、ご華族からの意見欄をつくり、書けるようにする。 ・家族会のスケジュール化とホームだよりがご家族来訪時に開催日程を伝え、家族会の参加を募る。 ・家族会の継続ができるような場の雰囲気作りを大切に行う。	12ヶ月
3	35	・施設内の訓練は実施することはできているが、外部(地域)との協力体制が整っていない。	・運営推進会議等で近隣の方々の協力を募ることができる。 ・近隣の方々と交えた防災訓練の実施ができる。	・緊急連絡ツールを作成し、運営推進会議で協力を募り、配布する。 ・様々な場面での想定訓練の中で、近隣の方々と交えて訓練することができるよう年間計画に盛り込む。	12ヶ月
4	40	・食を楽しむというひとつとして、入居者が下準備に携わることにホーム側のアプローチが少ない。	・職員も食事の準備や後片付け等に入居者と共に積極的に関わることができる。	・職員は入居者が下準備が困難だという意識をまず払拭し、まずはどのようなものでも出来るかどうかを一緒に確認し、少しずつできることを増やしていく。	12ヶ月
5					ヶ月